

農業共済事業特別会計

1 業務実績

各共済種目の業務量の前年度比較は、第1表の通りである。

(1) 農作物共済

水稲共済引受は、戸数 2,278 戸（対前年度 45 戸減）で、面積 97,343 a（対前年度 114 a 減）、引受収量 3,272,927kg（対前年度 28,584kg 増）、共済金額 706,952,232 円（対前年度 26,269,286 円減）となっている。

被害は、被害戸数 93 戸（前年度と変わらず）で、被害面積 1,685 a（対前年度 354 a 増）、共済減収量 14,057kg（対前年度 3,477kg 増）、共済金支払額 3,036,312 円（対前年度 645,232 円増）となっている。

麦共済の引受は、県農作物改良協会の割当による種子用麦のみの栽培であり、戸数 20 戸（対前年度 6 戸増）で、引受面積 2,103 a（対前年度 136 a 増）、引受収量 41,511kg（対前年度 2,256kg 増）、共済金額 8,924,865 円（対前年度 5,795,760 円減）となっている。引受収量が増加したにもかかわらず共済金額が減少したのは、種子用麦の単位当たり共済金額が 375 円/kg から 215 円/kg になったためである。

被害は、被害面積 79 a（対前年度 151 a 減）で、共済減収量 413kg（対前年度 1,257kg 減）、共済金支払額 154,875 円（対前年度 65,565 円減）となっている。

また、損害防止事業として、市が実施する野生動物防護柵設置事業補助金にかかる財源として農業共済事業水稲共済損害防止事業助成金交付要綱に基づき 3,564,000 円助成している。

第1表 業務量の比較

農作物共済

(単位 : 戸・筆・a・kg・円)

共済目的	年産	引 受 状 況						被 害 状 況					
		戸 数	筆 数	面 積	引 受 収 量	平均単収	共 済 金 額	戸 数	筆 数	面 積	共済減収量	共済金支払額	
水	19	2,278	9,380	97,343	3,272,927	480	706,952,232	93	166	1,685	14,057	3,036,312	
	18	2,323	9,498	97,457	3,244,343	476	733,221,518	93	143	1,331	10,580	2,391,080	
	17	2,477	9,570	97,232	3,227,547	474	726,198,075	94	171	1,647	9,658	2,173,050	
	増減	△ 45	△ 118	△ 114	28,584	4	△ 26,269,286	0	23	354	3,477	645,232	
稲	率	-1.9%	-1.2%	-0.1%	0.9%	0.8%	-3.6%	0.0%	16.1%	26.6%	32.9%	27.0%	
	麦	20	20	117	2,103	41,511	282	8,924,865					
		19	14	113	1,967	39,255	285	14,720,625	4	4	79	413	154,875
		18	21	128	2,357	48,184	292	6,360,288	5	12	230	1,670	220,440
		17	17	120	2,365	48,353	292	6,189,184	5	6	90	759	97,152
		増減	6	4	136	2,256	△ 3	△ 5,795,760	△ 1	△ 8	△ 151	△ 1,257	△ 65,565
率	42.9%	3.5%	6.9%	5.7%	-1.1%	-39.4%	-20.0%	-66.7%	-65.7%	-75.3%	-29.7%		

麦については共済の引受期間が2年度にわたるため、19年度の引受状況に関する数値は20年産麦の数値で、19年度の被害状況の数値は18年度の引受に対するものである。

(2) 家畜共済

乳牛の引受は、農家戸数が4戸（前年度と変わらず）で、頭数は325頭（対前年度56頭減）、1頭当たり共済金額75,470円（対前年度1,453円減）となっている。

被害は、病傷事故が87件（対前年度3件減）で、共済金支払額が1,740,300円（対前年度293,420円増）。死廃事故が18件（対前年度4件減）で、共済金支払額が932,949円（対前年度874,296円減）となっている。

肉用牛（肥育）の引受は、農家戸数は7戸（前年度と変わらず）、頭数が1,113頭（対前年度124頭減）、1頭当たり共済金額が115,696円（対前年度281円減）となっている。

被害は、病傷事故が383件（対前年度120件増）で、共済金支払額が3,503,840円（対前年度605,200円増）。死廃事故が28件（対前年度3件増）で、共済金支払額が2,389,604円（対前年度314,344円増）となっている。

肉用牛（その他）の引受は、農家戸数は27戸（対前年度2戸増）、頭数が353頭（対前年度5頭増）、1頭当たり共済金額が137,915円（対前年度976円減）となっている。

被害は、病傷事故が194件（対前年度37件増）で、共済金支払額が1,615,230円（対前年度269,920円増）。死廃事故が5件（対前年度5件減）で、共済金支払額が570,824円（対前年度1,034,054円減）となっている。

一般馬の引受は、農家戸数1戸（前年度と変わらず）で、頭数が13頭（対前年度1頭減）、1頭当たり共済金額が107,692円（対前年度27,692円増）となっている。

被害は、病傷事故が2件（対前年度1件増）で、共済金支払額が31,440円（対前年度18,950円減）となっている。

また、一般損害防止事業として予防衛生薬剤の配布に276,331円。特定損害防止事業として県連合会へ委託し疾病等予防活動に648,500円を支出している。

家畜共済

(単位：戸・頭・円・件)

共済目的	年度	引 受 状 況						被 害 状 況			
		戸 数	頭 数	共 済 価 格 (千円)	共 済 金 額	付 割 保 合	1 頭 当 り 共 済 金 額	病 傷 事 故		死 傷 事 故	
								件 数	共 済 金 支 払 額	件 数	共 済 金 支 払 額
乳牛	19	4	325	55,500	24,527,600	44.2%	75,470	87	1,740,300	18	932,949
	18	4	381	66,480	29,307,600	44.1%	76,923	90	1,446,880	22	1,807,245
	17	5	400	73,660	36,418,500	49.4%	91,046	98	1,909,100	19	1,051,566
	増減	0	△ 56	△ 10,980	△ 4,780,000	0.1%	△ 1,453	△ 3	293,420	△ 4	△ 874,296
	率	0.0%	-14.7%	-16.5%	-16.3%	0.2%	-1.9%	-3.3%	20.3%	-18.2%	-48.4%
肉(肥育牛)	19	7	1,113	311,250	128,770,000	41.4%	115,696	383	3,503,840	28	2,389,604
	18	7	1,237	340,850	143,463,700	42.1%	115,977	263	2,898,640	25	2,075,260
	17	7	1,215	341,200	143,328,783	42.0%	117,966	312	3,912,870	29	2,389,200
	増減	0	△ 124	△ 29,600	△ 14,693,700	-0.7%	△ 281	120	605,200	3	314,344
	率	0.0%	-10.0%	-8.7%	-10.2%	-1.7%	-0.2%	45.6%	20.9%	12.0%	15.1%
肉(その他牛)	19	27	353	74,830	48,684,000	65.1%	137,915	194	1,615,230	5	570,824
	18	25	348	75,860	48,334,000	63.7%	138,891	157	1,345,310	10	1,604,878
	17	25	366	79,460	48,924,000	61.6%	133,672	147	1,382,050	9	753,356
	増減	2	5	△ 1,030	350,000	1.3%	△ 976	37	269,920	△ 5	△ 1,034,054
	率	8.0%	1.4%	-1.4%	0.7%	2.1%	-0.7%	23.6%	20.1%	-50.0%	-64.4%
一般馬	19	1	13	2,800	1,400,000	50.0%	107,692	2	31,440	0	0
	18	1	14	2,800	1,120,000	40.0%	80,000	1	50,390	0	0
	17	1	15	3,000	1,770,000	59.0%	118,000	4	32,340	0	0
	増減	0	△ 1	0	280,000	10.0%	27,692	1	△ 18,950	0	0
	率	0.0%	-7.1%	0.0%	25.0%	25.0%	34.6%	100.0%	-37.6%	-	-

(3) 畑作物共済

引受は、戸数 224 戸（対前年度 19 戸減）で、引受面積 7,117 a（対前年度 1,161 a 減）、引受収量 51,321kg（対前年度 8,336kg 減）、共済金額 79,968,839 円（対前年度 8,447,154 円減）となっている。

被害は、被害戸数 108 戸（対前年度 70 戸増）で、被害面積 3,192 a（対前年度 2,121 a 増）、共済減収量 8,870kg（対前年度 6,268kg 増）、共済金支払額 13,979,120 円（対前年度 10,073,518 円増）となっている。強風・降雨等の被害と、9 月～10 月も高温で推移したため「二段生長」がおき例年になく裂皮が多く発生したためである。

畑作物共済

(単位：戸・筆・a・kg・円)

共済目的	年度	引 受 状 況						被 害 状 況				
		戸 数	筆 数	面 積	引 受 収 量	平均単収	共 済 金 額	戸 数	筆 数	面 積	共 済 減 収 量	共 済 金 支 払 額
大豆	19	224	538	7,117	51,321	90	79,968,839	108	215	3,192	8,870	13,979,120
	18	243	567	8,278	59,657	90	88,415,993	38	63	1,071	2,602	3,905,602
	17	224	501	7,801	58,719	95	85,055,061	64	128	2,098	2,800	4,102,000
	増減	△ 19	△ 29	△ 1,161	△ 8,336	0	△ 8,447,154	70	152	2,121	6,268	10,073,518
	率	-7.8%	-5.1%	-14.0%	-14.0%	0.0%	-9.6%	184.2%	241.3%	198.0%	240.9%	257.9%

(4) 園芸施設共済

引受は、戸数 21 戸（対前年度 3 戸減）で、引受棟数 74 棟（対前年度 5 棟減）、共済金額は 26,680,000 円（対前年度 3,851,000 円減）となっている。

被害は、被害戸数 8 戸（対前年度 2 戸増）で、棟数 10 棟（対前年度 3 棟減）、共済金支払額 334,634 円（対前年度 140,856 円減）となっている。

園芸施設共済

(単位 : 戸・棟・㎡・円)

共済目的	年度	引 受 状 況					被 害 状 況				
		戸 数	棟 数	面 積	共 済 価 格	共 済 金 額	戸 数	棟 数	面 積	損 害 額	共 済 金 支 払 額
プラスチックハウス 内作無し	19	21	74	16,473	33,396,000	26,680,000	8	10	2,505	419,618	334,634
	18	24	79	17,712	38,210,000	30,531,000	6	13	2,596	595,842	475,490
	17	30	80	18,343	41,278,000	32,992,000	2	4	456	162,037	126,460
	増減	△ 3	△ 5	△ 1,239	△ 4,814,000	△ 3,851,000	2	△ 3	△ 91	△ 176,224	△ 140,856
	率	-12.5%	-6.3%	-7.0%	-12.6%	-12.6%	33.3%	-23.1%	-3.5%	-29.6%	-29.6%

2 予算の執行状況

(1) 収益的収支

収益的収支の執行状況は、第 2 表の通りである。

収益的収入の合計は、予算額 100,458,000 円に対して、決算額は 86,612,946 円で、予算額に対して△13,845,054 円であり、その執行率は 86.2%となっている。

収益的支出の合計は、予算額 100,458,000 円に対して、決算額は 80,761,339 円で、不用額は 19,696,661 円であり、執行率は 80.4%となっている。

① 収益的収入

農作物共済勘定では、予算額 18,163,000 円に対して、決算額は 13,043,935 円（執行率 71.8%）で、予算額に対して△5,119,065 円である。

家畜共済勘定では、予算額 21,771,000 円に対して、決算額は 17,209,477 円（執行率 79.0%）で、予算額に対して△4,561,523 円である。

畑作物共済勘定では、予算額 20,078,000 円に対して、決算額は 18,197,425 円（執行率 90.6%）で、予算額に対して△1,880,575 円である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,445,000 円に対して、決算額は 732,622 円（執行率 50.7%）で、予算額に対して△712,378 円である。

業務勘定では、予算額 39,001,000 円に対して、決算額は 37,429,487 円（執行率 96.0%）で、予算額に対して△1,571,513 円である。

② 収益的支出

農作物共済勘定では、予算額 18,163,000 円に対して、決算額は 7,827,861 円（執行率 43.1%）で、10,335,139 円の不用額である。

家畜共済勘定では、予算額 21,771,000 円に対して、決算額は 16,623,984 円（執行率 76.4%）で 5,147,016 円の不用額である。

畑作物共済勘定では、予算額 20,078,000 円に対して、決算額は 18,197,425 円（執行率 90.6%）で、1,880,575 円の不用額である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,445,000 円に対して、決算額は 682,582 円（執行率 47.2%）で、762,418 円の不用額である。

業務勘定では、予算額 39,001,000 円に対して、決算額は 37,429,487 円（執行率 96.0%）で、1,571,513 円の不用額である。

第2表 収益的収支の執行状況

(単位：円・%)

区 分	収 入				支 出				当 該 年 度 純 利 益
	予 算 額	決 算 額	増 減	執行率	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	
農 作 物 共 済 勘 定	18,163,000	13,043,935	△ 5,119,065	71.8%	18,163,000	7,827,861	10,335,139	43.1%	5,216,074
家 畜 共 済 勘 定	21,771,000	17,209,477	△ 4,561,523	79.0%	21,771,000	16,623,984	5,147,016	76.4%	585,493
畑 作 物 共 済 勘 定	20,078,000	18,197,425	△ 1,880,575	90.6%	20,078,000	18,197,425	1,880,575	90.6%	0
園 芸 施 設 共 済 勘 定	1,445,000	732,622	△ 712,378	50.7%	1,445,000	682,582	762,418	47.2%	50,040
業 務 勘 定	39,001,000	37,429,487	△ 1,571,513	96.0%	39,001,000	37,429,487	1,571,513	96.0%	0
合 計	100,458,000	86,612,946	△ 13,845,054	86.2%	100,458,000	80,761,339	19,696,661	80.4%	5,851,607

3 経営成績

(1) 損益状況

損益状況の前年度比較は、第3表の通りである。

全体で、収益 86,612,946 円に対して費用 80,761,339 円で、差引 5,851,607 円の当年度純利益を計上している。

前年度と比べると、収益は 6,202,822 円、費用も 7,187,500 円増加している。

勘定科目ごとに見ると、農作物共済勘定は、収益 13,043,935 円に対して、費用は 7,827,861 円で、5,216,074 円の当年度純利益となっている。

家畜共済勘定は、収益 17,209,477 円に対して、費用は 16,623,984 円で、585,493 円の当年度純利益となっている。

畑作物共済勘定は、収益・費用とも 18,197,425 円である。

園芸施設共済勘定は、収益 732,622 円に対して、費用は 682,582 円で、50,040 円の当年度純利益となっている。

業務勘定は、収益・費用とも 37,429,487 円である。

(2) 収 益

① 事業収益

事業収益は 78,345,112 円で、前年度に比べ 6,375,831 円 (8.9%) 増加している。主に畑作物共済勘定において、保険金で 9,066,167 円 (257.9%) 増加したことと、業務勘定において、受取補助金が 4,336,135 円 (△18.6%) 減少したことによる。

② 事業外収益

事業外収益は 8,267,834 円で、前年度に比べ 173,009 円 (△2.0%) 減少している。

(3) 費 用

① 事業費用

事業費用は 80,761,339 円で、前年度に比べ 7,187,500 円 (9.8%) 増加している。

② 事業外費用

事業外費用は昨年同様、なしである。

4 財政状況

貸借対照表の前年度比較は、第4表の通りである。

(1) 資産

資産総額は153,889,295円で、前年度末に比べ5,896,409円(4.0%)増加している。

① 流動資産

流動資産は152,667,861円で、前年度末に比べ6,484,335円(4.4%)増加している。主に業務勘定において現金預金が9,906,491円増加し、未収金が4,326,348円減少したことによる。

② 固定資産

固定資産は1,221,434円で、前年度末に比べ587,926円(△32.5%)減少している。
有形固定資産の減価償却費である。

(2) 負債

負債は82,348,430円で、前年度末に比べ4,187,563円(5.4%)増加している。主に業務勘定において、一時借入金が1,386,411円(2.0%)、未払金が3,605,806円(510.2%)増加したことと、家畜共済勘定において、未払金が665,006円(△51.2%)減少したことによる。

固定負債は全て業務引当金4,353,168円で、前年度末と同額である。

(3) 資本

資本は71,540,865円で、前年度末に比べ1,708,846円(2.4%)増加している。

剰余金は65,689,258円で、前年度末に比べ2,693,524円(4.3%)増加している。内訳は、法定積立金が29,586,604円で、前年度末に比べ368,605円(1.3%)増加し、特別積立金が36,102,654円で、前年度末に比べ2,324,919円(6.9%)増加している。

当該年度末処分剰余金は、5,851,607円となっている。

5 まとめ

決算の概要は前述の通りである。

本市の農業共済事業の事業規模は、水稻における水田農業構造改革の取り組みや、家畜及び園芸施設における農業経営者の高齢化や後継者不足等による資源の減少に伴い、引受戸数は 2,576 戸で前年度と比較して 2.7% (△72 戸) 減少し、共済金額は 1,031,703 千円で前年度と比較し 4.5% (△49,051 千円) 減少している。

一方被害の発生状況では、水稻は台風被害を免れたものの数年ぶりのトビイロウンカの発生による被害により、共済金支払額は 3,036 千円で前年度と比較し 27.0% (645 千円) 増加したが金額被害率は 0.4%の低被害であった。また、麦、家畜及び園芸施設においては、いずれも前年度と比較し共済金支払額が減少している。

しかし、大豆においては 9 から 10 月の異常高温による二段生長に伴い、裂皮による被害が多発し共済金支払額が 13,979 千円で前年度と比較し 10,074 千円 (257.9%) 増加している。

損害防止事業については、水稻及び家畜について実施し共済事故の低減に努められているが、さらに関係機関との連携を図り、病虫害発生状況等の情報提供など被害の未然防止の啓発に一層努められたい。

経営状況については、被害が大きかった畑作物共済勘定を除き純利益が発生し、当該年度純利益は農作物共済勘定で 5,216 千円、家畜共済勘定で 585 千円、園芸施設共済勘定で 50 千円、合計 5,851 千円を計上する結果となり、農作物共済では全額を特別積立金へ、その他においては 1 / 2 ずつ法定積立金と特別積立金へ積み立て、将来の被害に備えるとともに損害防止事業等の財源として確保している。

今後とも損害防止事業の推進等により健全な財政運営を図られるとともに、農業災害補償法の趣旨に添った加入者の利便性を高める損害補填の充実にも努められたい。